

(新) 英語イノベーション事業 大阪市の英語教育改善へ向けての提言

松宮 新吾
関西外国語大学

現状と課題

カリキュラム・教育課程規準

教育目標・教育内容・教育方法・教育環境

国基準（学習指導要領）で実施

小学校5、6年生：外国語活動

中学校：外国語科（英語）

高校：外国語科・英語

教材・教科書

小学校：「Hi, friends! 1, 2」

中学校・高校：検定教科書

中学3年生

到達目標（第2期教育振興基本計画）

未達成：国レベル、大阪市レベル

英語学習に対する生徒の意識

「英語が好きではない」

43.2%

「好き」

中1：61.6%

中2：50.3%

高3：41.6%

英語学習に対する生徒の意識

「英語が好き」

70.9%

「外国語活動が役に立った」：中1

6割～8割程度

担当教員

「成果や変容が見られた」

小学校教員：**76.7%**

中学校教員：**65.3%**

教員の資質向上

英語教員の英語運用能力

未達成

中学校英語教員：**3割弱**

高等学校英語教員：**5割程度**

外国語科担当教員研修

校外研修への参加：**83.1%**

参加回数：**44.5%**が年度内に**2、3回**

外国語活動の教育効果

英語の認知・スキル（聞く・話す・読む・書く）

ではなく、

児童生徒の情意や態度に

関わる優位性

外国語活動の教育課題

ミスマッチ 1

教育目標・教育内容と
児童生徒の発達段階や
学習段階のミスマッチ

外国語活動の教育課題

ミスマッチ 2

教育方法と児童生徒の
知的・認知的発達段階
のミスマッチ

外国語活動の教育課題

ミスマッチ 3

指導者と**教育内容**の

ミスマッチ（**授業指導
不安**）

外国語活動の教育課題

カリキュラム

(教育計画：目標・
内容・方法・環境)
のミスマッチ

アジアの中の 日本の英語教育

アジアの中の日本の英語教育

(松宮 2014)

表1 日本・中国・韓国の小学校英語教育比較一覧

比較項目/国	日本	中国	韓国	備考
開始年	2011	2001	1997	-
教育課程上の位置づけ	教科としては位置づけられない(外国語活動)	教科として実施	教科として実施	-
対象学年	5・6年生	3・4・5・6年生 都市部では1年生から導入	3・4・5・6年生 一部都市部では1年生から導入	-
授業時数	週1単位時間・年間35単位時間 (1単位時間45分)	全学年週2単位時間 (1単位時間40分)	3・4年生週1単位時間・年間34単位時間、5・6年生週2単位時間・年間68単位時間 (1単位時間40分)	中国の直轄都市においては、1・2年生で週1単位時間実施
教材	教科でないため、検定教科書はない。ただし、教育の均質化を図るため、国が編集した“Hi, friends! 1, 2”を主として使用	検定教科書	検定教科書	中国, 韓国では, 各学年で学習すべき語彙数や表現, 文法項目等がガイドラインとして示されている
授業担当者	担任教師と外国語指導助手等とのTT (Team-teaching: ティーム・ティーチング)	担任教師又は英語専科教員	担任教師又は英語専科教師とネイティブとのCT (Co-teaching: コ・ティーチング)	日本ではTT (Team-teaching), 韓国ではCT (Co-teaching)と呼ばれている。中国では, 都市部の一部を除いて外国人教員が活用されている例はほとんどない
教員研修	担任教師に対する研修は自治体教育委員会により実施	初任者には120時間, 現職で英語を担当する教員には240時間の研修を実施	英語を担当する担任教師に対しては120時間の研修を実施	中国, 韓国共に教員研修については, 海外研修等の機会を提供する等のインセンティブが与えられ
教員養成	教員養成課程には位置づけられていない	教科担任制のため小学校英語教員を育成する教員養成プログラムがある	小学校英語専科教員を養成するための教員養成プログラムがある	中国, 韓国共に英語専任教員の数は十分ではない

アジアの中の日本の英語教育

(松宮 2014)

表4 Q5の多重比較によるBonferroniの調整済み有意確率

国名	日本	中国	韓国
日本	-	.000	.000
中国		-	.084
韓国			-

Q5: 先生のとにつけて英語が言える。

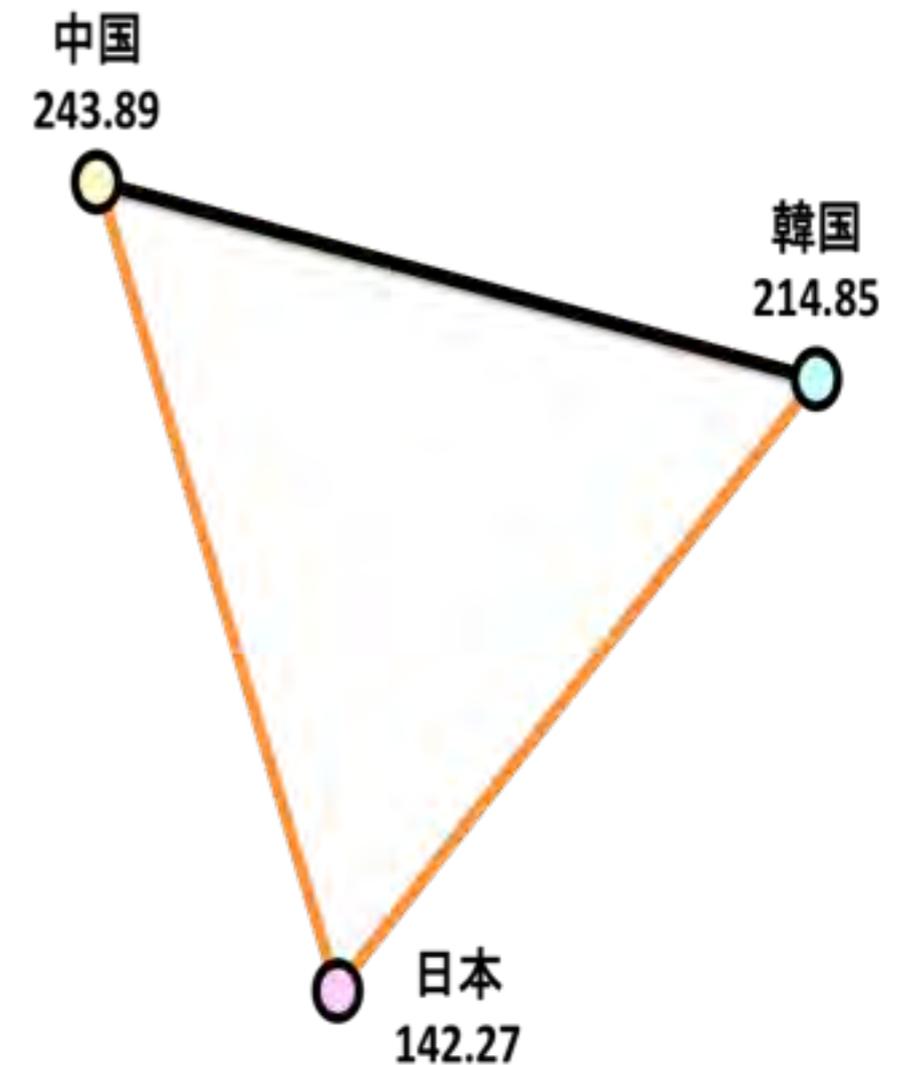


図1 Q5: 国別のペア毎の比較結果
各ノードの数値は国別の平均順位

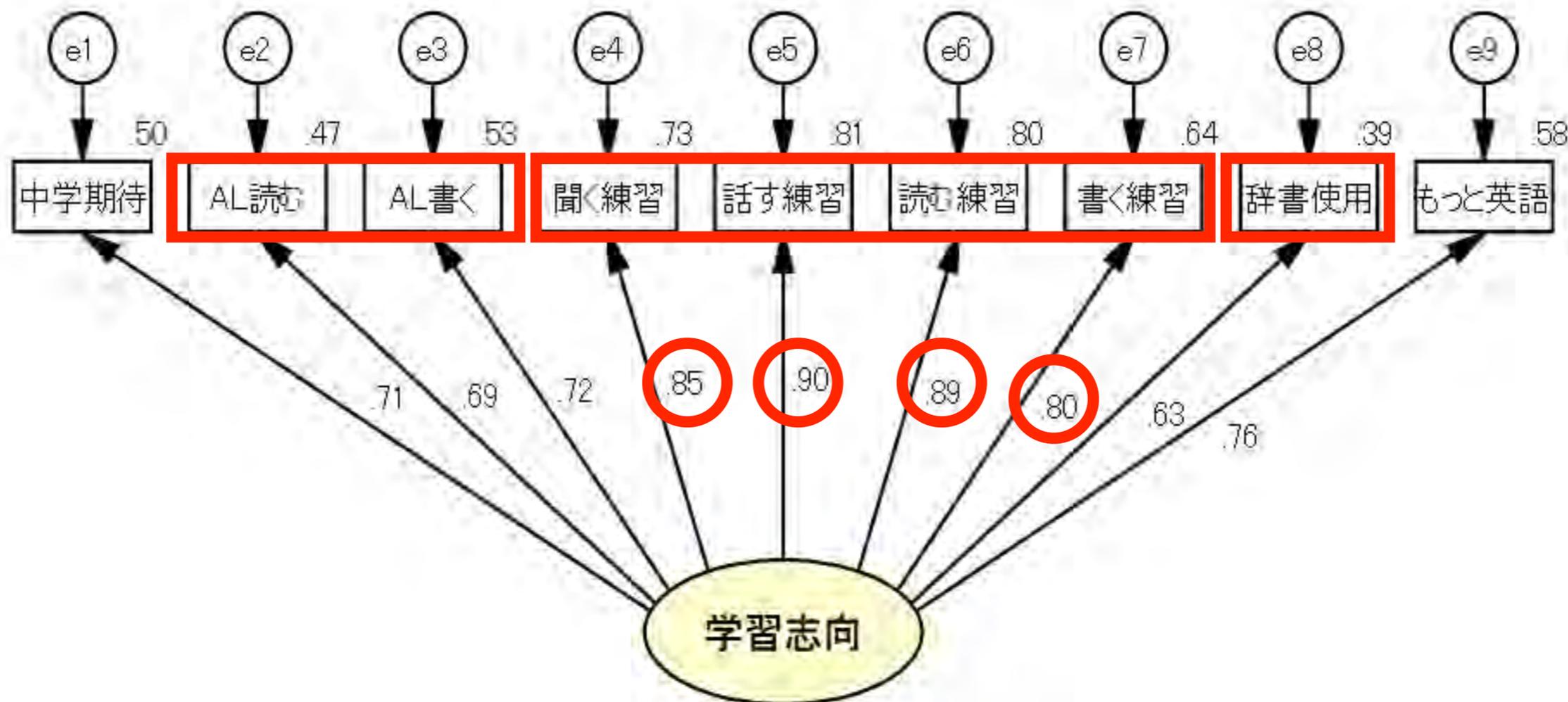
表13 下位尺度得点及び英語力診断テスト得点の国別比較

因子分析による下位尺度得点 英語力診断テスト項目別得点	日本		中国		韓国	
	M	SD	M	SD	M	SD
①英語有能得点	72.54	18.90	91.67	12.35	86.40	16.71
②英語コミュニケーション志向得点	69.45	22.11	92.41	14.53	83.10	18.04
③リスニング得点	84.66	17.31	89.11	11.84	89.62	15.43
④単語認識得点	68.49	22.89	97.85	8.18	78.94	28.95
⑤アルファベット筆記力得点	63.40	26.36	98.48	9.81	92.57	18.68
⑥アルファベット発音力得点	68.10	25.04	95.88	18.66	92.82	17.11
下位尺度得点 (①・②) 平均	71.16		95.33		88.49	
英語力診断テスト項目 (③・④・⑤・⑥) 平均	66.66		97.40		88.11	

児童生徒の意識調査結果

小学校5、6年生が外国語活動に期待すること

(松宮 2016)



四技能（聞く・話す・読む・書く）に対する強い志向

カテゴリ	#ディスクリプタ	#レコード数
すべてのレコード	-	572
未カテゴリ化	-	497
抽出されたコンセプトはありません	-	207
ネガティブ	42	1

未使用の抽出 | すべての抽出

抽出 [アイコン] [アイコン] [アイコン] コンセプト [アイコン]

- 英語 (142)
- 勉強 (53)
- もっと (46)
- 外国 (44)
- 話す (43)
- 知りたい (35)
- 書 (33)
- 外国語 (30)
- 外国人 (24)
- 外国人の人 (22)
- 使う (21)
- 読む (21)
- いろいろ (18)
- アルファベット (17)
- 練習 (17)
- 行 (16)
- 単語 (16)
- 覚える (15)
- 読み書き (15)
- 会話 (15)
- 交流 (14)
- 言葉 (14)
- 歌 (12)
- 他 (11)
- いろんな (9)
- ゲーム (9)
- ない (9)
- 思う (8)
- 発音 (8)
- 歌う (7)
- やる (7)
- 外国のこと (7)
- 小学生 (7)
- 名前 (7)
- 国 (7)
- 授業 (7)
- わかる (6)
- 言う (6)
- 学ぶ (6)
- 遊ぶ (6)
- なし (6)
- 世界遺産 (6)
- 筆記体 (6)
- 知る (5)
- しゃべる (5)
- 好き (5)

小学校5、6年生

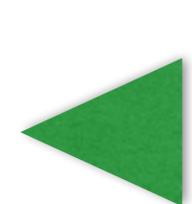
英語の認知・理解 に対する欲求



英語の習慣形成 「慣れ親しむ」

1	2.	英語を書く勉強をしてみたい	
2	3.	英語がすらすら話せるようになりたい	
3	4.	英語の <u>書き</u> 、練習がしたい。相手の <u>いうこと</u> を理解する練習がしたい。	
4	5.	英語を <u>楽々</u> に <u>しゃべ</u> りたい。	
5	8.	英語を <u>書</u> く練習がしたい。	
6	13.	英語を使っている <u>いろいろな遊び</u> をもっとしたい。	
7	16.	英語をもっと <u>知</u> って英語を話したい	
8	17.	完全に英語が <u>わかる</u> ように英語のことは何でも勉強したいです。そして <u>外国人</u> の人と話してみたいです。	
9	19.	英語を書いてみたい	
10	23.	英語やアルファベットの <u>意味</u> を知りたい	その他 - 問い合わせ
11	28.	もっと <u>難しい英語</u> を知りたい	その他 - 問い合わせ
12	41.	正しい英語の <u>使い方</u>	
13	44.	英語は <u>楽しい</u> と <u>言</u> うようなことがしたい。	ポジティブ
14	45.	英語 <u>習</u> ってるから <u>ない</u> 。	
15	54.	英語が <u>べらべら</u> に話せるようになって、 <u>外国人</u> と話してみたい。	
16	55.	英語の <u>つづり</u> を <u>覚え</u> たい。英語が <u>読</u> めるようになりたい。	
17	65.	英語の <u>歌</u> を知りたい。	その他 - 問い合わせ
18	66.	いろいろな <u>単語</u> を <u>読</u> んで使ってスラスラと英語を話したい。	
19	71.	英語を <u>読</u> めるようになりたい。	
20	76.	歌の <u>中</u> にある英語を <u>言</u> えるようにしたい。	
21	77.	僕は英語の <u>歌</u> を <u>覚え</u> たいです。	その他 - 要望
22	84.	英語の <u>歌</u> をもっと <u>知</u> りたい	その他 - 問い合わせ
23	87.	英語の <u>歌</u> を <u>覚え</u> ずに発音よく歌いたい	
24	88.	英語の <u>歌</u> を <u>覚え</u> て歌いたい	
25	94.	英語の <u>スペリング</u> テストや () <u>二</u> で <u>書</u> ける <u>言葉</u> を書きたい	
26	97.	外国で <u>仕事</u> をしたいから英語だけでなく <u>いろいろな外国語</u> を勉強したい	
27	103.	英語を使った <u>ゲーム</u>	
28	112.	英語の <u>読み書き</u> 、 <u>聞き取り</u> が <u>でき</u> るようになりたい	
29	126.	外国人と <u>会話</u> したり英語の <u>歌</u> を <u>歌</u> ったり他の <u>外国語</u> を勉強したい	
30	128.	日本語を英語で <u>言</u> うと <u>どうなる</u> のか	その他 - 問い合わせ
31	130.	英語の <u>読み書き</u> と <u>会話</u>	
32	131.	英語を <u>書</u> いたり <u>リスニング</u>	
33	146.	英語が <u>話</u> せるようになりたい	
34	149.	英語の <u>辞書</u> を使ってもっと <u>多く</u> の <u>言葉</u> を知りたい	その他 - 問い合わせ
35	151.	もっと <u>いろいろな英語</u> が <u>書</u> けるようになりたい	
36	152.	もっと英語の <u>ゲーム</u> をしたい	その他 - 要望
37	155.	<u>違う</u> 学校の <u>人</u> と英語で話したい、 <u>外国人</u> と英語で話したい。ジェスチャーゲームが <u>おもしろ</u> かった	その他 - 要望 ポジティブ

- 単語 (14)
- 覚える (8)
- アルファベット (8)
- 歌 (7)
- 発音 (7)
- 英語 (5)
- 習う (4)
- なし (4)
- 月 (4)
- 小学校 (3)
- 書き (3)
- 思 (3)
- わかる (3)
- 特に (3)
- 読み書き (3)
- ゲーム (3)
- 曜日 (3)
- 役立っている (2)
- 小学生の時 (2)
- 練習 (2)
- 挨拶 (2)
- 読み方 (2)
- 言い方 (2)
- 外国人 (2)
- 時間 (2)
- ない (2)
- 基本的 (2)
- 役に立っている (1)
- 役に立った (1)
- わかりやすくなる (1)
- 歌う (1)
- 使う (1)
- なる (1)
- 言う (1)
- 指す (1)
- 出る (1)
- くる (1)
- 分かる (1)
- 先生が来てくれて (1)
- 大好き (1)
- get (1)
- スラッと (1)
- まだ (1)
- 数 (1)
- 語句 (1)
- how (1)
- 授業 (1)
- 英単語 (1)



中学校1年生

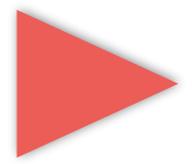
役立ち感・有用感

英単語、アルファベットの
読み書き (認知・記憶)

英単語、文法、認知・記憶
を高めるための学習活動

中学校1年生

期待感

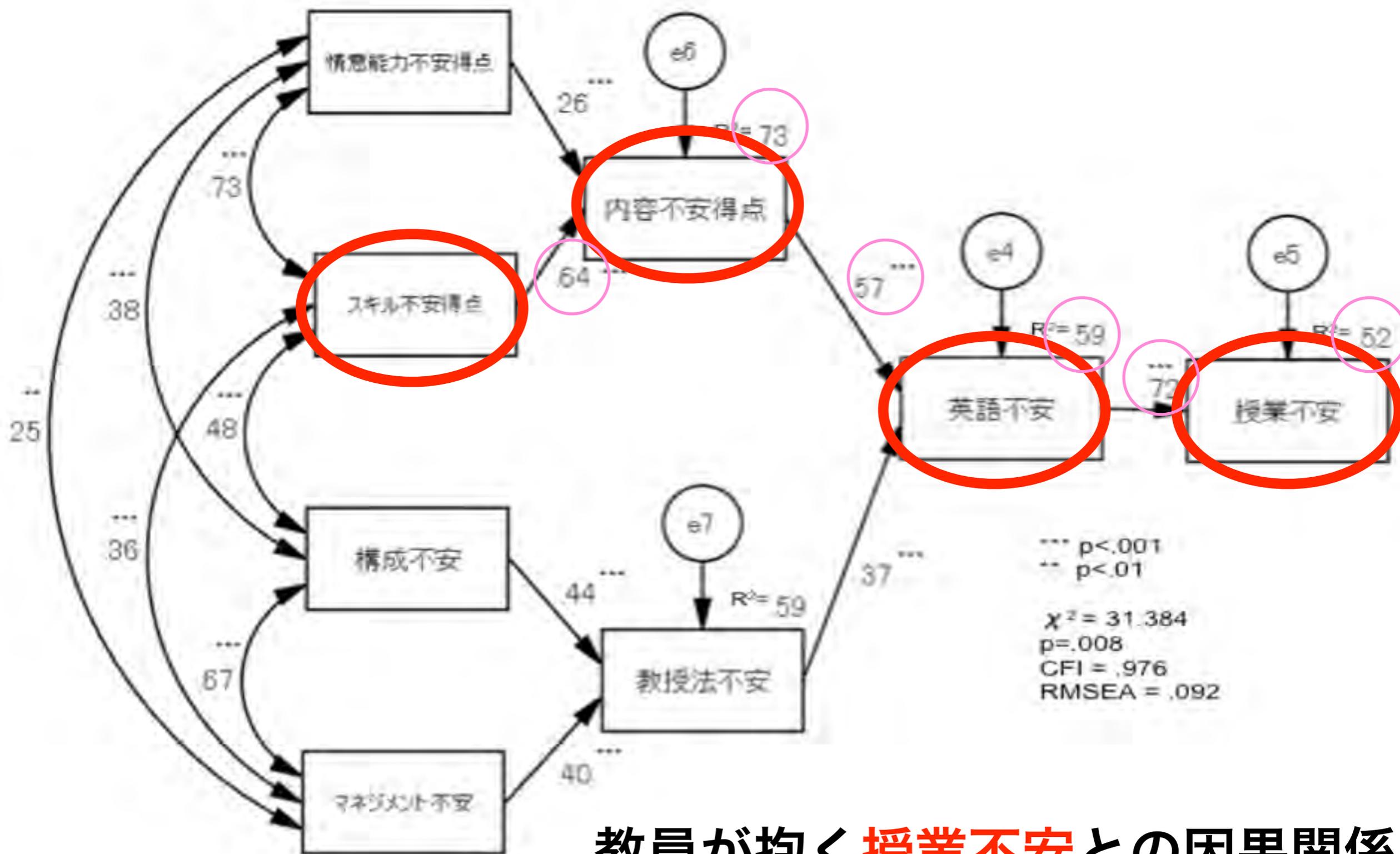


- 単語 (10)
- よい (10)
- 英語 (6)
- もっと (4)
- なし (4)
- 練習 (4)
- ない (4)
- 書く (3)
- 文法 (3)
- 思 (2)
- 話す (2)
- しっかり (2)
- 特に (2)
- 読み書き (2)
- 英文 (2)
- アルファベット (2)
- 勉強 (2)
- 数字 (2)
- 文 (2)
- 簡単 (2)
- 覚えておけばよかった (2)
- 本格的にやった (1)
- 中学校 (1)
- 読む (1)
- やる (1)
- 覚える (1)
- 知る (1)
- 間 (1)
- 分かる (1)
- わかる (1)
- 全部 (1)
- もう少し (1)
- 少し (1)
- いっぱい (1)
- ちゃんと (1)
- 絵本 (1)
- つづり (1)
- 意味 (1)
- 関すること (1)
- 色 (1)
- 話すこと (1)
- 英単語 (1)
- 基本 (1)
- まじめ (1)
- 理解 (1)
- what (1)

外国語活動担当教員の 意識調査結果

小学校外国語活動担当教員の意識調査

(松宮 2015)



教員が抱く **授業不安** との因果関係

提 言

小中一貫 (9年間)

英語教育カリキュラム

の開発・実施

全ての児童生徒が到達す
べき（到達可能な）

言語運用能力目標を設定

そのために必要な、

教育内容、教育方法、

教育環境を整備

小学校早期英語教育カリ

キュラム（4年間）

小中英語教育連結（ブリッ

ジ）カリキュラム（3年間）

中学校英語教育カリキュラ

ム（2年間）

「前倒し」でも

「先送り」でもない

大阪市独自の

「アクセレレーション・
プログラム」

それを支え推進する

「**小学校英語専科教員**」

ではない、**大阪市独自の**

「**ジェネラル・イングリッシュ・
ティーチャー**」

を育成する

そのために、

タスク・フォースの立ち上げ

現職教員、英語教育、言語学、第二言語習得、学習・発達心理学、教育評価、教材開発、ICT等の各分野の専門家・実践家・民間企業

期待できる成果

(1) 児童生徒の**絶対評価規準**に基づき**確実な英語運用能力の育成**と

(2) **教員の資質能力育成**を**双方向**で可能とする

小中一貫英語教育の大阪市モデル
を構築・発信